

清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025
(骨 子 案)

令和6年2月

清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025

(1) 策定の基本的な考え方

◆ 策定の目的

- 地方における人口の急減、超高齢化という我が国の課題の解決に向けて、2014（平成26）年11月「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、同年12月、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。「まち・ひと・しごと創生法」においては都道府県・市町村による「地方版総合戦略」の策定が努力義務とされており、本市においても2016（平成28）年2月に「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、2019（令和元）年12月に「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020」を策定し、地方創生の取組を進めています。
- 「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020」の策定後、国においては地方創生に向けた取組をデジタル活用によって加速させ、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指した、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を、2022（令和4）年12月に決めました。
- 本市においてもこれまでの総合戦略に基づく取組を継承しつつ、新たに国が示す「デジタル基盤の整備」「デジタル人材の育成・確保」「誰一人取り残されないための取組」等の考え方も踏まえたうえで、新たな状況下において本市で実施すべき地方創生に向けた取組を体系的に整理するため、2025（令和7）年度から始まる新たな総合戦略として、「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025」を策定します。

《まち・ひと・しごと創生法の目的》

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために。まち・ひと・しごと創生（※）に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

※まち・ひと・しごと創生：以下を一体的に推進すること。

ま ち … 国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める社会の形成
ひ と … 地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保
しごと … 地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

◆ 清須市第3次総合計画との関係

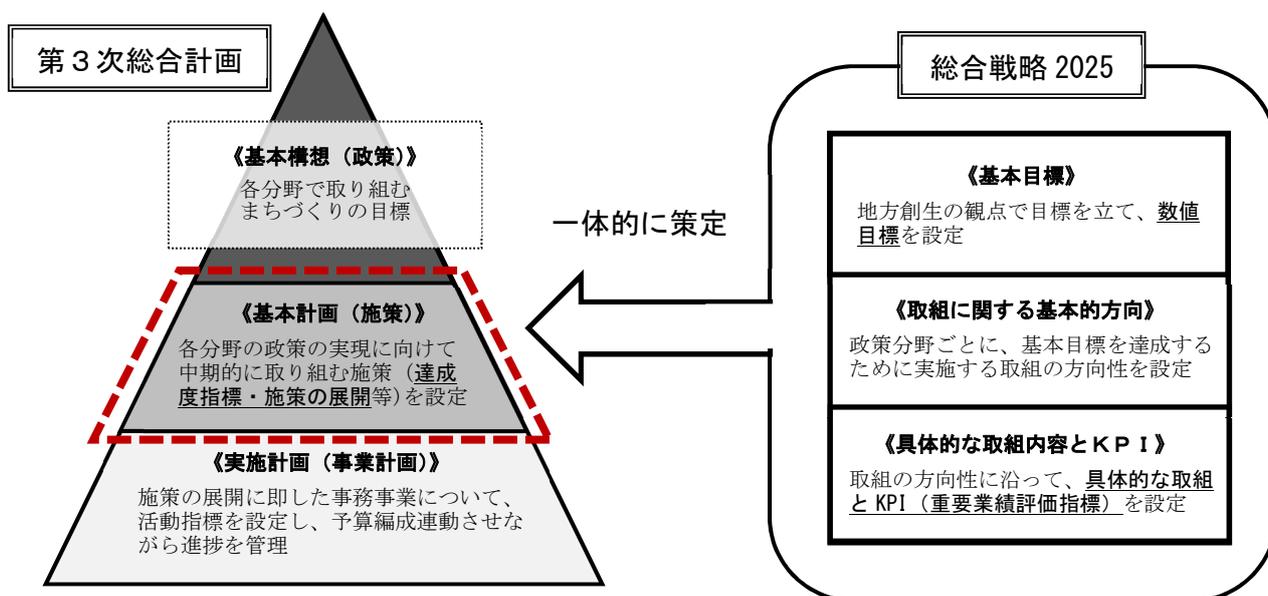
総合計画は、本市における行政運営の基本的な指針であり、総合計画に基づいて行政運営を進めることを原則としています。

第3次総合計画では、各分野で取り組むまちづくりの目標を「政策」として定め、各分野の政策のもとに、その実現に向けて中期的に取り組む「施策」を分野別・体系別に整理しています。

一方、まち・ひと・しごと創生総合戦略は、清須市人口ビジョン（令和6年改訂版）で整理した、本市の人口に関連して目指すべき将来の方向性を踏まえて、地方創生の実現に向けた取組を分野横断的にまとめたものです。

各分野におけるまちづくりを効果的に進めるための基盤を整えるという点において、人口に関する問題への対応は重要な政策課題です。

まち・ひと・しごと創生総合戦略2025に位置づけた取組は、行政運営の基本的な指針である第3次総合計画と内容の整合を図りながら、重点的に取り組むこととします。



◆ 計画期間

まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025 の計画期間は、第 3 次総合計画の前期基本計画と計画期間をあわせ、2025（令和 7）年度から 2029（令和 11）年度までの 5 年度間とします。

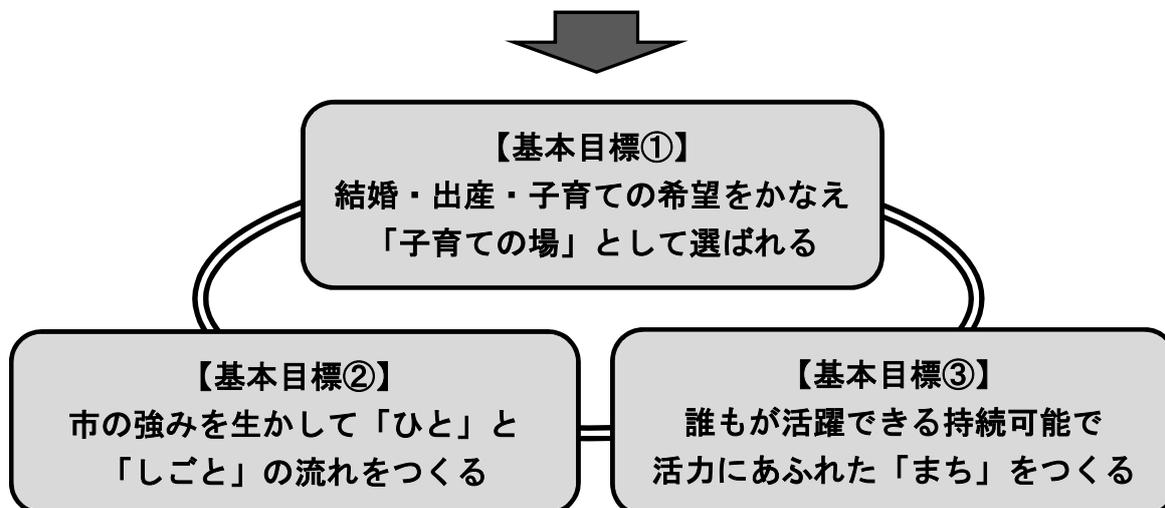
《第 3 次総合計画（基本計画）と総合戦略の計画期間》

	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
まち・ひと・しごと 創生総合戦略 2025	5 年度間									
第 3 次総合計画 （基本計画）	前期計画（5 年度間）					後期計画（5 年度間）				

（2）3 つの基本目標

清須市人口ビジョン（令和 6 年改訂版）で提示する、本市が目指すべき将来の方向を踏まえ、2025（令和 7）年度以降の地方創生の実現に向けた基本目標を次のとおり設定します。

本市が目指すべき将来の方向（清須市人口ビジョン）	
方向性①	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
方向性②	シニア世代が元気でアクティブに暮らせる地域をつくる
方向性③	地域資源を生かして地域の活力を高める
方向性④	担い手の減少に適応した持続可能な地域をつくる



(3) 基本目標の実現に向けた取組

基本目標① 結婚・出産・子育ての希望をかなえ「子育ての場」として選ばれる

持続的なまちの発展と地域の賑わい創出のためには、一定規模の人口を維持することが重要であり、そのためには、定住する若い世代の増加と出生率の上昇に向けた取組が必要です。

これらの取組の充実により、子育てをしている、あるいは、これから子育てを考える若い世代から、子どもを産み・育てる場所として選ばれるまちの実現を目指します。

《数値目標》

項目	基準値	目標値
「数値目標」～「具体的な取組とKPI」については、次回の会議において案をお示しします。		

◆ 関連する統計データ

◆ 取組に関する基本方針

◆ 具体的な取組とKPI（重要業績評価指標）

《具体的な取組》

《KPI》

項目	基準値	目標値

基本目標②

市の強みを生かして「ひと」と「しごと」の流れをつくる

本市が有する歴史・自然を中心とした地域資源を最大限に活用し、地域の魅力の発信・魅力的なイベントの実施等による、交流人口の増加と市内経済の活性化に資する取組を推進します。

また、名古屋市に近接し、交通利便性が良い本市の強みを生かして、土地区画整理事業をはじめとする市街地整備を推進するほか、企業立地にも積極的に取り組むことで、産業の活性化・雇用の創出を図り、ひいては交流人口や定住人口の増加につながる、「ひと」と「しごと」が好循環を生み出す、魅力にあふれるまちの実現を目指します。

《数値目標》

項目	基準値	目標値

「数値目標」～「具体的な取組とKPI」については、次回の会議において案をお示しします。

◆ 関連する統計データ

◆ 取組に関する基本方針

◆ 具体的な取組とKPI（重要業績評価指標）

《具体的な取組》

《KPI》

項目	基準値	目標値

基本目標③

誰もが活躍できる持続可能で活力にあふれた「まち」をつくる

人口減少を要因として生じる課題のひとつに、生産年齢人口の減少に伴う、地域住民の暮らしを支える担い手不足の深刻化があります。

今後、確実に訪れる本格的な人口減少局面への対応として、地域の担い手が減少していくなかであっても、住民の暮らしの満足度の維持・向上を図るため、積極的なDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進によるICTの活用や、豊かな経験を持つ高齢者をはじめとする、地域貢献を望む市民・団体・企業等が十分に力を発揮することができる協働の仕組みづくりにより、持続可能で活力にあふれるまちの実現を目指します。

《数値目標》

項目	基準値	目標値

「数値目標」～「具体的な取組とKPI」については、次回の会議において案をお示しします。

◆ 関連する統計データ

◆ 取組に関する基本方針

◆ 具体的な取組とKPI（重要業績評価指標）

《具体的な取組》

《KPI》

項目	基準値	目標値

(4) マネジメントサイクル

清須市の行政運営マネジメントの基軸である第3次総合計画は、計画体系に即した行政評価（施策評価・事務事業評価）を実施し、その結果を活用して、毎年度の事務事業の見直しや、計画全体の見直しを行うサイクル（マネジメントサイクル）を構築しています。

まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025 においても、第3次総合計画におけるマネジメントサイクルの仕組みを活用した進捗管理を行います。

さらに、有識者等で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において外部の視点からの評価を行います。

これらの評価結果を踏まえて、必要に応じて、まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025 の内容の見直しを行います。

